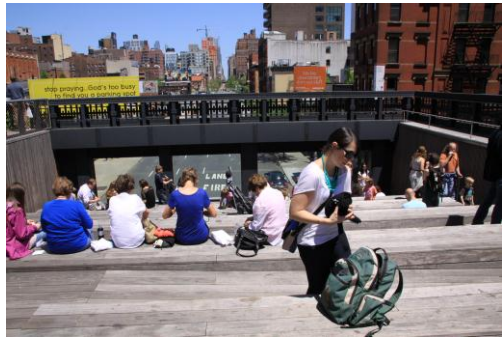


04.ハイライン



ハイラインは、もともとは物資の輸送の為、鉄道として利用されていたが、鉄道の廃止により解体を余儀なくされていた。しかし、沿線に住む住民の懸命な保存運動が実を結びNYの観光資源として生まれ変わった。祝日にもなると大勢の人で賑わい、マンハッタンを地上3階レベルで見渡すことができる。マンハッタンにはセントラルパークやそれ以外の公園や屋上緑化をしている建物等が多く存在し、緑化に対する意識の高さに関心する。その中でもハイラインに対して興味深いと思ったのはこれらの点で存在する広場・緑地と異なり、鉄道の形状を活かし、リニアな公園として空中で伸びているという点である。ハイラインの途中には、芝の広場やマンハッタンを背景とした劇場のようなベンチなどランドスケープとして見事にデザインされている。日本でも首都高など空中を利用した流通の整備がされており、ある意味日本の都市の発展を支えてきた象徴的存在でもある。老朽化による整備の為、資金調達が必要となり、空中権の売却という話が出ている。単純に資金だけの話ではなく、ハイラインを参考により良い進歩が日本でもできるのではないかと感じた。(菱田 真仁)